令和５年度　事業計画書

社会福祉法人　徳雲福祉会

当法人は第２種社会福祉事業のうち、以下の事業を経営する。

（イ）　幼保連携型認定こども園の経営
（ロ）　保育所の経営
（ハ）　地域子育て支援拠点事業の経営
（ニ）　一時預り（保育・教育）事業の経営
（ホ）　病後児保育（体調不良児型）事業の経営
（ヘ）　障がい児保育事業の経営

経　営　理　念

・当法人は、禅的素養を基にした多様な福祉活動即ち保育・教育を日々行う。
・利用者の意向を尊重し総合的にその活動が提供されうるよう創意工夫する。
・ 利用者が、随処に主となり人としての尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援する。

１　教育・保育の基本方針

（１）当法人の設置するこども園は、当法人の経営理念に則り、教育基本法・児童福祉法・児童憲章・児童の権利条約等によりどころをもち、亀岡市・地域社会・保護者の信託を受けて、児童の最善の利益を実現するために、生活環境の整備に努める。
（２）経営理念に掲げた禅的素養を基本にし、教育と養護が一体となった保育により、豊かな人間性に目覚め、
創造性を備えた人間の育成を目指し、随処に主となり、人としての尊厳を保持し、心身の健全な発達に努める。
（３）児童の保育に関して具体的には、日々の教育・保育活動において、児童を心身共に健やかに育み、知的活動のなかで情操を豊かにし、感動する心を培うとともに、児童が集団生活をとおして、人としての尊い能力がそなわるよう、教育の環境を整備し、児童みずからが、社会人として自立し、自信と責任に目覚める教育・保育を行う。
（４）地域社会における子育て世帯を積極的に支援し、乳幼児などの教育・保育に関する相談に応じ助言するなどの社会的役割を果たすとともに、無料又は低額な料金で福祉活動を実施し、福祉サービスも積極的に行う。

２　教育・保育目標（めざす児童のすがた）

Ｉ　丈夫で命の大切さを知る児童
Ｉ　友達と仲良くできる児童
Ｉ　善し悪しを知り、他人に親切な児童
Ｉ　正しい言葉を使い、挨拶のできる児童
Ｉ　豊かな心を持ち、ありがとうの言える児童

３　施設の運営

（１）・幼保連携型認定こども園　大井こども園（本園）：並河駅前分園
所 在 地　本園　亀岡市大井町並河１丁目２４番２５号
分園　亀岡市大井町土田２丁目５８番１の 105、108 及び 101
定　　員　本園　１８０人　分園　２５人
専任職員１７人　准専任職員２人
非常勤職員　若干人（子育て支援員を含む）
・幼保連携型認定こども園　千代川こども園
所 在 地　亀岡市千代川町千原片ホコ１５番地
定　　員　１９０人
専任職員１５人　准専任職員３人
非常勤職員　若干人（子育て支援員を含む）

（２）地域の実情により保育所の経営を実施することもある

４ 施設設備の中・長期整備計画

（１）大井こども園関係
（イ）平成２４年度実施の事務室・乳幼児室・遊戯室増築時借入金元利年次償還
（ロ）園舎・園庭・外構・屋外遊戯場等の維持修繕
（ハ）屋外保育施設（運動場）の大規模な整備・駐車場の整備（長期計画）
（ニ）病後児保育室（体調不良児型）の整備（中期計画）
（ホ）地域子ども･子育て支援事業用の遊戯室の施設整備（認定こども園対策）
（２）千代川こども園関係
（イ）平成２２年度実施の老朽園舎改築時借入金元利の年次償還
（ロ）地域子ども･子育て支援事業用の遊戯室の施設整備（認定こども園対策）
（ハ）園庭・外構の整備及び維持修繕
（ニ）病後児保育室（体調不良児型）の整備（中期計画）

５　資金調達計画

（１）　認定こども園の通常事業経費は、1 号認定児童の保育料・２号認定 3 号認定児童の亀岡市児童委託費・亀岡市法外公費及び篤志寄付金等を充当する。
（２）　施設の整備に伴う平成２２年度千代川こども園借入金償還は、元金は千代川こども園の資金で償還し、利息は京都府・亀岡市の利子補給金を受けて償還する。
（３）　施設の整備に伴う平成２４年度大井こども園借入金償還は、元金は大井こども園の資金で償還し、利息は京都府・亀岡市の利子補給金をもって償還する。

６　職員計画

（１）　経営理念・教育方針・教育・保育目標に基づき、教育課程、年間･月間指導計画、週案･日案等を策定し、教育の向上及び児童福祉の推進を目指す。

（２）　関係校と連携を取りながら保育教諭を志望する学生、認定こども園志望学生、看護師志望学生の受け入れを行うとともに、地域の小中高生のために職業体験、教育・保育体験、教育保育実習の場を提供し、次世代を担う人物の育成支援を行う。
また、上記の目的をもつ人物を受けるに当たって目的が異なるため、職員全員が受け入れの意義や方針を理解し、その都度配慮し実施する。実習生に就職の機会を与え、より良い人材確保に努める。

（３）　研修については、園内研修を充実し、京都式保育人材キャリアパス及び研修計画と課題に基づき各種研修会に参加し、研修での学びを共有して保育教諭の人間性と専門性を高めるなど資質の向上を図り、教育・保育内容の更なる充実を目指す。

（４）　役割分担及び責任体制は、職員処務規程のとおりとするが、常に協調と連携を密にし、円滑な施設運営を行う。

７　保護者および地域との連携

（１）　アンケート調査などを実施し、保護者のニーズの把握に努める。

（２）　就学を迎える児童と保護者や、卒園児と保護者へも心のケアができるよう、相互の交流の場を設けていく。

（３）　子育てサポートセンター事業、子育てひろば事業の充実を図り、さまざまな保育ニーズに対応するとともに、地域住民に子育て支援の場を提供する。

（４）　地域の保護者の子育て支援のため、一時預りのほか、園庭解放や教育・保育体験、出前保育を実施し、遊びの提供や子育て相談を行い、こども園が身近な存在となるよう努める。

８　安全対策

（１）　防災設備の定期点検は外部委託により実施する。また、日常の安全点検は自主点検表に従って実施する。

（２）　火災・震災・不審者に対応できるよう消防署や警察、自治会とも協力して訓練を実施する。児童の安全配慮を第一義とし、実施後の見直しと充実に全職員で取り組む。

（３）　衛生管理については、担当者を中心に研修会に参加し、全職員がより一層の徹底を図るよう努める。

９　教育・保育内容

・フレックスタイム制度など幅広い保護者の就労形態に対応し、早朝保育、長時間保育、延長保育を実施する。
・特別な支援を必要とする児童や保護者の対応については、職員共通理解と連携のもとに、その児童・家庭に応じた配慮・支援を行う。
・障がいのある児童の教育・保育については、一人ひとりに応じた教育・保育が出来るよう加配などにも配慮し、家庭と専門機関との連携を密に行い、統合保育の中で児童が共によりよい環境の中で発達が計られるよう努める。
・保育に欠ける家庭の状況に対処するため、病後児保育の実施に努める。
・当園の農園を活用し、自然との触れ合いを深めながら季節に沿った草花や野菜を育て、年中行事や日々の給食に配慮し、食文化の継承や食育活動に繋げていく。
・上記のほか、保育内容の細目については、別紙参照。

本年度月次(年令別)教育保育計画

	月のねらい	５才児	４才児	３才児	２才児	１才児	０才児
４月	「合掌聞法」 入園・進級を喜び園生活に親しもう。	進級した喜びを感じ味わいながら、年長児としての自覚を持って生活する。	新しい環境に慣れ、保育者や友だちと触れ合い安心して過ごす。	保育者や友だちと一緒に遊ぶ中で、楽しさを感じ、喜んで登園する。	ゆったりとした雰囲気の中で、保育者や園の生活になじみ、楽しく過ごす。	保育者に受けとめられている安心感を持ちながら、園生活に慣れる。	一人ひとりの生活リズムを大切にし、新しい環境の中で安心して過ごす。
５月	「持戒和合」 決まりを守って、集団生活を楽しもう。	決まりや約束を守り、何事にも意欲的に活動する。	生活の流れや決まりを理解し、友だちと一緒に行動しようとする。	決まりや約束事を知り、友だちと一緒に活動することを楽しむ。	保育者や友だちと一緒に過ごす中で、決まりごとがあることに気付く。	園生活に慣れ、保育者や友だちと触れ合い、安心して過ごす。	保育者と触れ合うことで安心し、ゆったりとした雰囲気の中で過ごす。
６月	「生命尊重」 生き物を大切にしよう。	身近な動植物にも命があることを知り、生命の尊さに気付き、いたわり大切にする。	雨の日の事象や身近な動植物に興味を持ち、梅雨期の過ごし方に気を配りながら心地よく過ごす。	身近な小動物を見たり、触れたりして梅雨期の自然に興味を持つ。	身近な小動物を見たり、触れたりして親しみを持つ。	身近な小動物に興味を持ち、 好きな遊びを見つけ、十分に楽しむ。	一人ひとりの発達に応じた身近な環境に興味を持つ。
７月	「布施奉仕」 誰にでも親切にしよう。	友だちとの関わりを深め、優しい心を育みながら、誰にでも親切にしようとする。	友だちと親しみ、関わりを深め一緒に楽しく過ごす。	相手の思いに気付いたり、考えたりして友だちと関わりを深める。	友だちとの関わりの中で相手の気持ちに気付いていく。	遊びや生活の中で友だちと関わり、楽しむ。	保育者との関わりの中で、触れ合いや遊びを十分楽しむ。
８月	「自利利也」 できることは進んでしよう。	夏を健康で衛生的に過ごせる習慣を身につけ、何事にも最後まで自分でしようとする。	夏の生活の仕方や遊び方を身に付け、自分で出来ることは進んでする。	身のまわりのことを丁寧に行うとともに、暑さに負けず、夏の遊びを十分に楽しむ。	簡単な身のまわりのことを自分でしようとする。	保育者に見守られながら、出来ることは自分でやってみようとする。	沐浴や水遊びをして、心地よく過ごす。
９月	「報恩感謝」 社会や自然の恵みに感謝しよう。	様々な人や物のおかげで生活できていることを知り、感謝の気持ちを持つ。	生活の中で全ての人や自然への感謝の気持ちを持つ。	秋の自然に興味を持ち、人や生命に感謝する心を育む。	秋の自然に興味・関心を持ち、人や物を大切にしようとする。	自然に親しみながら保育者や友だちと簡単なやりとりを楽しむ。	戸外遊びや散歩を通して、秋の自然に興味・関心を持つ。

本年度月次(年令別)教育保育計画

	月のねらい	５才児	４才児	３才児	２才児	１才児	０才児
10月	「同事協力」 お互いに助け合おう。	お互いに助け合いながら自分の力を十分に発揮し、ひとりでは味わえない満足感を経験する。	友だちの大切さに気づき、お互いに助け合おうとする。	友だちの存在を意識し、力を合わせる楽しさを味わう。	自己主張をしながら、周りの保育者や友だちと積極的に関わり合う。	自分の気持ちや思いを言葉や身ぶりで保育者や友だちに伝えようとする。	遊びや生活を通して、周りの大人や友だちに興味を持ち関わる。
11月	「精進努力」 最後までやり遂げよう。	自分の思いや考えを出し合い、最後までやり遂げる充実感や満足感を味わう。	友だちと協力しながら、最後まで諦めずにやり遂げる達成感を味わう。	様々な経験を通し、最後までやり遂げる大切さを知る。	いろいろな体験を通して自分でできたという達成感を味わう。	遊んだ後は保育者や友だちと一緒に片付けをしようとする。	保育者と一緒に簡単な身の回りのことをしようとする。
12月	「忍辱持久」 教えを知り、みんなで努め励もう。	お釈迦様の教えを守り、みんなで努力して日々の生活を充実させていく。	お釈迦様の教えに興味を持ち、理解しようとする。	お釈迦様の教えを知り、落ち着いて過ごす。	お釈迦様の話を聞き、親しみが持てるようにする。	お釈迦様を身近に感じ、親しみが持てるようにする。	お釈迦様に見守られながら、安心して過ごす。
1月	「和顔愛語」 寒さに負けず仲良く遊ぼう。	冬の自然事象に関心を持ち、見たり触れたりしながら寒さの中で仲間意識を深める。	健康的な生活習慣を身につけ、寒さに負けない身体づくりをする。	友だちと一緒に冬ならではの遊びを思い切り楽しむ。	戸外に出て、冬の自然に触れながら、伸び伸びと遊ぶ。	寒さに負けず、戸外へ行き、友だちと仲良く遊ぶ。	冬の外気に触れながら、元気に過ごせるようにする。
2月	「禅定静寂」 よく考え、落ち着いた暮らしをしよう。	いのちの大切さや善し悪しについて自ら考え、行動する。	いのちの大切さや善し悪しを知り、落ち着いて生活する。	友だちとの関わりを深める中で、いのちの大切さに気付く。	保育者や友だちとの安定した信頼関係の中で、落ち着いて生活をする。	個々に応じて保育者と一緒に身のまわりのことをしようとする。	1日の生活リズムが安定し、保育者や友だちと落ち着いて過ごす。
3月	「智慧希望」 希望をもち、楽しく暮らそう。	卒園の喜びや就学への期待を膨らませながら社会生活に必要な能力を身につける。	年長組への進級を楽しみにしながら、自覚を持って生活する。	大きくなったことを感じ、進級への期待を深め、自信を持って過ごす。	進級への期待を深め、身のまわりのことを積極的にしようとする。	進級を楽しみにしながら、自分のできることは進んでやってみようとする。	やりたい気持ちを大切にしながら、興味のあることを自分でやってみようとする。

令和５年度　年間教育・保育計画　　千代川こども園:大井こども園

※　感染症等の状況により、計画の延期や中止とさせて頂くことがあります
ご了承ください

月次	教　育　・　保　育　計　画
４月	保育始め(6 日) 家庭訪問(6～10 日)　第3水曜職員研修日
5 月	開園記念日(5 日)花祭り(8 日)　個別懇談(希望者のみ)(初旬～下旬) 3歳以上児バス遠足　第3水曜職員研修日
6 月	健康診断(中旬)　春の参観日(上旬)　5歳児こもれび訪問(中旬) 3歳児ラポール八木訪問(下旬)　第3水曜職員研修日
7 月	七夕のおたのしみ会(7日) 4･5歳児市民プール行き(中旬)　第3水曜職員研修日
8 月	お盆(12～16 日) 夏祭り(29 日～)　第3水曜職員研修日
9 月	5歳児ラポール八木敬老祝賀会(中旬)　第3水曜職員研修日
10 月	運動参観(中旬) おいも堀り(下旬)　3歳以上児バス遠足(中旬)　第3水曜職員研修日
11 月	3歳以上児バス遠足(初旬)　年齢別懇談会　第3水曜職員研修日
12 月	成道会･大根炊き(8 日)　生活発表会(中旬)　クリスマス会(22 日) お餅つき＜千代川にて＞(26 日)　年末保育修了日(28 日)　第3水曜職員研修日
1 月	5 日保育開始(2･3 号認定)　9 日　保育開始(1号認定) 5歳児幼年消防出初式(上旬)　とんど(15 日)　第3水曜職員研修日
2 月	節分(2 日)　個別懇談(希望者のみ)(初旬～下旬)　ねはん会(15 日) 音楽発表会(中旬)　健康診断(中旬)　第3水曜職員研修日
3 月	5歳児お別れ遠足妙心寺(初旬) 修了式(18 日:19 日)　保育終了日(28 日)　第3水曜職員研修日

毎月の行事等	毎月の外来講師による保育指導	
お誕生日会 避難訓練 身体測定 壁面構成	リトミック４～５歳児月１回 絵画遊び　４～５歳児月１回 楽器遊び　４～５歳児月１回 陶芸遊び　４～５歳児年２回	体操遊び　３～５歳児月１回 ベル遊び　３歳児月１回 英語で遊ぼう　５歳児月１回 子育て相談・園庭開放随時 子育てひろば・サポートセンター事業月1回

注 ( )の中の：の複数字日は前が大井こども園、後が千代川こども園を示します。

※　上記外来講師による保育指導日は自由にご参観ください

こども園での生活

時間	3･4･5歳児 1号認定子ども	3･4･5歳児 2号認定子ども	0･1･2歳児 3号認定子ども
7:00	順次登園･早朝保育 （合同保育）	順次登園･早朝保育 （合同保育）	順次登園･早朝保育 （合同保育）
9:00	全園児登園	全園児登園	全園児登園
9:30	朝の挨拶	朝の挨拶	朝の挨拶
			間食（午前のおやつ）
10:00	設定保育	設定保育	設定保育
11:00			昼　食
12:00	昼　食	昼　食	昼　寝
13:00		昼　寝	
14:00	着替え	着替え	着替え
14:30	間食午後おやつ	間食（午後のおやつ）	間食（午後のおやつ）
	降園（預かり保育）	自由遊び	自由遊び
	自由遊び		
15:30	通園バス出発	通園バス出発	
16:00	預かり保育終了	短時間保育終了	短時間保育終了
16:30	長時間おやつ	延長おやつ	延長おやつ
18:00	長時間保育終了	標準時間保育終了	標準時間保育終了
19:00	延長保育終了	延長保育終了	延長保育終了

※　おおむねの時間帯です。行事等で変更する場合があります。
※　土曜日は人数が少ないため、合同保育となります。

保育時間について

認定区分	開園曜日	利用可能時間
1 号認定　（教育標準時間）	月曜～金曜	9 時 00 分～14 時 30 分
2・3 号認定（保育標準時間）	月曜～土曜	7 時 00 分～18 時 00 分
2・3 号認定（保育短時間）		8 時 00 分～16 時 00 分

職員の設置状況

大井こども園

職　種	員数（含：分園）	備　考
園長	1	常　勤
副園長	1	常　勤
主幹保育教諭	2	常　勤1名　非常勤1名
副主幹保育教諭	1	常　勤
保育教諭・保育士	33	常勤14名　非常勤19名
看護師	4	非常勤
子育て支援員	4	非常勤
保育助手	0	非常勤
事務員	91	非常勤
バス運転士	1	非常勤
専門指導講師	6	非常勤
栄養士	1	京都マルタマフーズ株式会社
調理員	3	京都マルタマフーズ株式会社

千代川こども園

職　種	員　数	備　考
園長	1	常　勤
副園長	1	常　勤
主幹保育教諭	2	常　勤1名　非常勤1名
副主幹保育教諭	1	常　勤
保育教諭・保育士	28	常勤12名　非常勤16名
看護師	3	非常勤
子育て支援員	6	非常勤
保育助手	1	非常勤
事務員	3	非常勤
バス運転士	1	非常勤
専門指導講師	6	非常勤
栄養士	1	京都マルタマフーズ株式会社
調理員	3	京都マルタマフーズ株式会社